

高井戸 Y A 新聞

秋

2017

ノンストップ！ミステリー小説



読書の秋ですね。読めばきっとハマる、図書館員オススメのミステリーを集めました。

『体育館の殺人』

青崎 有吾／著 東京創元社



高校の旧体育館で、放送部の部長が殺された。現場に居合わせた卓球部の袴田柚乃は、尊敬する卓球部部長にかけられた疑惑を晴らすため、学校一の秀才でアニメオタクの変人・裏染天馬に助けを求める。密室状態の体育館で犯行はいかに行われたのか？そして犯人は？シリーズ1作目となる本格ミステリー。

『教室の灯りは謎の色』

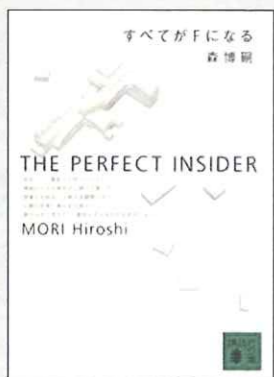
水生 大海／著 KADOKAWA



家族問題で不登校になり、優勇塾に通う高校生の並木遥。ある日、塾でボヤ騒ぎがあり、疑われた遥は事件の解決に乗り出す。次々に起こる事件を解決していくうちに見えてきたものとは…。青春ミステリー。

『すべてがFになる』 (講談社文庫)

森 博嗣／著 講談社



14歳で両親を殺害したとされ、それ以来孤島の研究所で周囲と隔離された生活を送る天才工学博士・真賀田四季。ある日、博士の部屋からウェディングドレスを着た死体が現れ、同時に博士は姿を消してしまう。偶然、島を訪れていた大学教授の犀川と女学生の西之園は、この密室殺人事件に挑むが…。出版から約20年経った今でも色あせない、著者の衝撃デビュー作。

『夢い羊たちの祝宴』 (新潮文庫)

米澤 穂信／著 新潮社



上流階級のお嬢様が集う読書サークル「バベルの会」の周囲で起きる、五つの非情な事件。幻想と現実の間をさまよう夢い羊たちの運命は？ラスト1行で背筋がゾクッと凍りつく残酷な短編集。

『64 (ロクヨン)』

横山 秀夫／著 文藝春秋



昭和64年に起きた少女の誘拐殺人事件。「64 (ロクヨン)」という符丁と呼ばれたこの事件は、解決されないまま時間が過ぎ、時効まであと一年となり…。

ドラマ化や映画化もされた、警察組織を舞台に繰り広げられる傑作長編ミステリー。

◆阿刀田高氏講演会「ギリシャ神話と日本文化」◆

毎年恒例となった作家・阿刀田高先生による、やさしいギリシャ神話の講座です。

日時 11月7日(火) 午後1時35分～2時25分

定員 50名 場所 高井戸中学校1階多目的ホール

対象 高井戸中学校1年生・保護者および地域の方

申込 10月15日(日)から、高井戸図書館のカウンターまたは電話(03-3290-3456)にて

持ち物 上履きと靴袋